

対カンボジア無償資金協力 「地方州都における配水管改修及び拡張計画（シハヌークビル・ポーサット・バッターバン）」完了式及び「地方上水道拡張整備計画（コンポンチャム・バッターバン）」起工式式典

6月16日（月）、我が国の無償資金協力による「地方州都における配水管改修及び拡張計画（シハヌークビル・ポーサット・バッターバン）」の完了式及び「地方上水道拡張整備計画（コンポンチャム・バッターバン）」起工式が、バッターバン州バッターバン市の浄水場建設予定地で開催されました。右式典には、日本大使館から本使が出席して祝辞を述べ、チャム・プラシット工業手工芸大臣及びチャン・ソバール バッターバン州知事等が参加しました。

冒頭、チャン・ソバール 州知事は、「安全な水のアクセスは住民にとって重要であり、供与された排水管や今後建設される浄水場について、持続可能となるようきちんと維持を行っていきたい。」と述べ、続いて、本使は、「完了した事業により、対象の3州（バッターバン州、ポーサット州及びプレア・シハヌーク州）において配水管網が整備され、本日起工式を行う事業により、バッターバン市とコンポンチャム市において新たな浄水場が建設され、対象地域の住民の生活環境向上並びにカンボジアの発展に資することを期待する。日本国の国民と政府からの支援である本事業が、カンボジアと日本の更なる友好関係に資することを望む」と述べました。

最後に、チャム・プラシット大臣は、「本日から工事を行う新たな浄水場の建設により、ポーサットでは11,500m³/日、バッターバンでは22,000m³/日のさらなる給水が可能となり、カンボジア政府を代表し、日本からカンボジアへの日頃からの支援に対して大変感謝申し上げる。また、今回の事業で整備・改修した配水管を含めて、上水道の普及については、人々の生活向上だけではなく、「力」の経済発展にもつながるものである。」と述べました。

続いて、チャン・プラシット大臣、本使による、除幕式及び起工式の鍬入れが行われ、その後、パイプ埋設のデモンストレーションが行われ、式典は終了しました。



チャン・ソバール バッターバン州知事スピーチ



本使のスピーチ



チャム・プラシット工業手工芸大臣のスピーチ



除幕式の模様



パイプ埋設のデモンストレーションの模様